

平成25年度進行管理・評価シート（案）／ 暫定版
 長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

| | | |
|---------------------------------|-------|-----|
| 1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携 並びに推進体制 | | 1~2 |
|---------------------------------|-------|-----|

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

| | | |
|---------------------------------|-------|----|
| 1 無形文化財支援事業 | | 3 |
| 2 弥栄神社の御祭礼等支援事業 | | 4 |
| 3 善光寺周辺地域道路美装化事業 | | 5 |
| 4 善光寺周辺地域電線類地中化事業 | | 6 |
| 5 善光寺経蔵保存修理事業 | | 7 |
| 6 中央通り歩行者優先道路化事業 | | 8 |
| 7 戸隠古道現状調査事業 | | 9 |
| 8 まちづくり協議会活動助成事業 | | 10 |
| 9 戸隠地域建物修景助成事業 | | 11 |
| 10 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設 ・歩道整備事業 | | 12 |
| 11 景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域) | | 13 |
| 12 松代地域道路美装化事業 | | 14 |
| 13 旧松代藩鐘楼広場整備事業 | | 15 |
| 14 小鮎川改修事業 | | 16 |
| 15 寺町商家(旧金箱家住宅)保存整備事業 | | 17 |
| 16 伝統環境保存事業 | | 18 |
| 17 旧文武学校保存整備事業 | | 19 |
| 18 松代町文化財保存活用推進事業 | | 20 |
| 19 史跡松代城跡保存整備調査研究事業 | | 21 |
| 20 耐震性貯水槽整備事業 | | 22 |
| 21 旧松代駅舎保存活用事業 | | 23 |
| 22 松代城東側駐車場整備事業 | | 24 |
| 23 北国街道松代道 周辺文化財等周遊道路整備事業 | | 25 |
| 24 史跡大室古墳群保存整備事業 | | 26 |
| 25 史跡大室古墳群 アクセス道路整備調査検討事業 | | 27 |
| 26 旧信濃川田駅保存活用事業 | | 28 |
| 27 松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業 | | 29 |
| 28 松代歴史文化の発信・誘客事業 | | 30 |
| 29 「彫工北村喜代松」製作の 屋台等保存・公開活用事業 | | 31 |
| 30 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業 | | 32 |
| 31 松巖寺観音堂保存修理事業 | | 33 |

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

| | | |
|--|-------|----|
| 1 文化財の保存活用(文化財調査・指定、保存管理 (活用)計画等)について | | 34 |
| 2 文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について | | 35 |
| 3 文化財の防災に関する取り組みについて | | 36 |

| | | |
|--|-------|-------|
| 4 文化財の周辺環境の整備について | | 37 |
| 5 文化財の保存及び活用の普及、啓発について | | 38 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | | |
| 1 「歴史的まちづくり 長野市の計画認定 国交省 など 県内4件目」 ほか | | 39~40 |
| ⑥その他(様式1-6) | | |
| 1 「NAGANO検定」の実施 | | 41 |
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式4) | | 42 |

評価軸①-1
組織体制

| | | |
|---------------------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容
歴史的風致維持向上計画を推進していくため、計画策定時と同じく、事務局をまちづくり推進課と文化財課とし、庁内及び国・県等の関係機関との調整窓口として、新たにまちづくり推進課内に「歴史的まちなみ整備室」を設置する。
歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。
歴史まちづくり法第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を、計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して、様々な提案・意見等を得ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年4月より、都市整備部まちづくり推進課内に「歴史的まちなみ整備室」を新設し、計画推進体制を強化した。計画推進の事務局となる歴史的まちなみ整備室と文化財課で定期的に事務局会議を行った。(10回)
庁内の連携調整と計画事業の進捗を図るため、関係部局を対象とする「歴史まちづくり推進会議」を開催した。(2回)
「長野市歴史的風致維持向上協議会」を開催、計画事業の進捗、進行管理・評価シート、歴史的風致形成建造物の指定、計画変更案などについて諮り、承認を受けた。(3回)

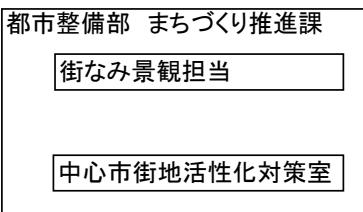
進捗状況 ※計画年次との対応

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 本計画の主旨、必要性について理解を深めてもらいながら、広く庁内の連携を取ることが必要である。 |
|--|--|

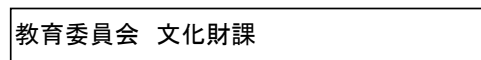
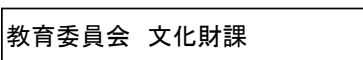
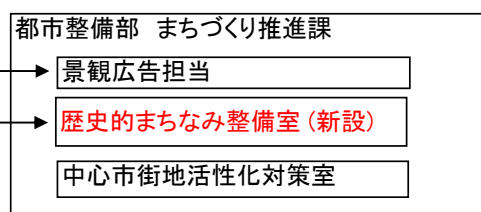
状況を示す写真や資料等

①平成25年4月 歴史的風致維持向上計画推進のための組織改正

計画策定時(H24)



組織改正(H25～)



※事務局会議の開催(月1回を目安)
計画の推進にあたり、情報共有のほか、課題・問題点の改善に向けた検討や各会議の運営等について協議を行なった。

②歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催

庁内での連携調整と計画事業の進捗を図るため、関係部局を対象に開催

第1回(平成25年10月28日 開催)

【協議事項】

- 長野市歴史的風致維持向上計画の認定について(報告)
- 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の概要について
- 計画記載事業の進捗状況及び新規予定事業について
- 今後の予定等その他



第1回歴史まちづくり推進会議
(10/28)

第2回(平成26年1月16日 開催)

【協議事項】

- 計画事業の進捗状況(評価シート)と次年度事業について
- 計画変更(案)について
- 長野市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)への対応について

③長野市歴史的風致維持向上協議会の開催

○平成25年11月21日開催(第1回)

【協議事項】

長野市歴史的風致維持向上計画記載事業の進捗状況について
長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・進捗評価について
長野市歴史的風致維持向上計画の変更について
歴史的風致形成建造物の指定の方針について
その他



第1回 長野市歴史的風致維持向上協議会 (11/21)

○平成26年2月18日開催(第2回)

歴史的風致形成建造物指定候補 5件について現地視察実施

○平成26年2月25日開催(第3回)

【協議事項】

長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・進捗評価について
長野市歴史的風致維持向上計画(変更案)について
歴史的風致形成建造物の指定について
その他



歴史的風致形成建造物指定候補の現地視察 (2/18)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 25年度 |
|-----------|--|---|------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 無形文化財支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要があるため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体に対し、活動経費の一部を助成することにより、伝承者の養成等を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

支援先の概要

(善光寺・戸隠地区)

① 宣澄(せんちょう)踊り保存会 戸隠神社宣澄社および宣澄生誕地での宣澄踊り奉納を実施した。

(松代・若穂川田地区)

① 箏曲(そうきょく)八橋流保存会 地元小学生を対象とする育成活動が行われ、保存継承を図ることが出来た。

② 大門踊(おおもんおどり)保存会 地元小学生を対象とする育成活動(年4回)、一般公開(年10回)を実施した。

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|---|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 弥栄神社の御祭礼等支援事業 ※計画変更有り/弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼をはじめ、重点区域における伝統的な祭礼等に対して支援を行う。なお、弥栄神社の御祭礼においては、曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋台の組立及び解体については、運行屋台4台、置き屋台1台の計5台に対して補助金を交付した。補修については、祭り屋台の修理、お囃子屋台の修繕、屋台の幌の更新の3件に対して補助金を交付した。平成24年度から、祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活、平成25年度は2年目であった。宵山(前夜祭)の実施など、前年度と比べ拡大して行った行事や、博物館に収められていた笠鉾の展示など、伝統を大切にする取り組みに加え、善光寺の門前町以外の地域の祭り屋台の展示など、祭りの活性化と定着を図るための新しい取り組みも実施された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

屋台の巡行と善光寺山門前での踊りの奉納(山門答礼)



祭り屋台の補修



更新した祭り屋台の幌



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 善光寺周辺地域道路美装化事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成15年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、西院通り

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

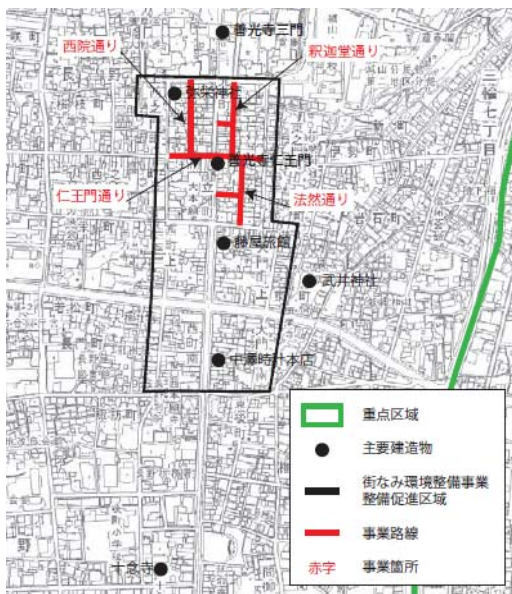
釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り及び西院通りの道路美装化工事実施に向けて、道路美装化のデザインを決定するため、善光寺周辺地域まちづくり協議会に対し説明会を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

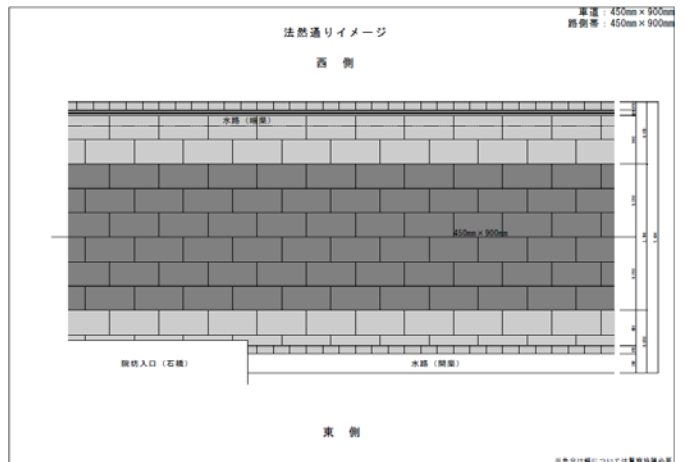
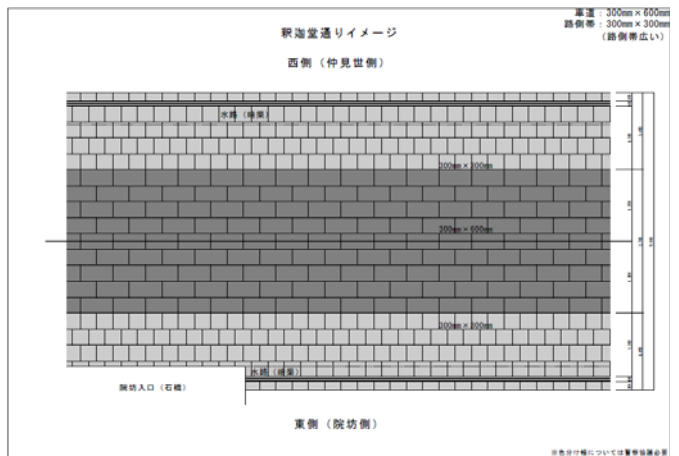
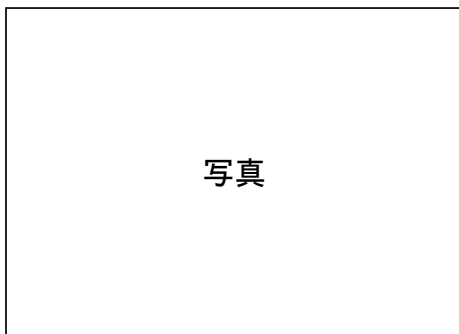
状況を示す写真や資料等

道路美装化箇所図



院坊通りにおける道路美装化に関する打ち合わせ会議
 第1回 平成25年10月2日
 第2回 平成26年3月 日

会議の様子



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-----------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 善光寺周辺地域電線類地中化事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|------------------------|
| 事業期間 | 平成17年度～平成27年度 |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) |

計画に記載している内容
 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、西院通り

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

仁王門通り(長野北576号線)において、電線共同溝整備工事及び引込み設備工事を実施した。
 ○電線共同溝整備総延長(計画期間累計) 実施済み105m/計画延長238m(進捗率44%)

| | |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

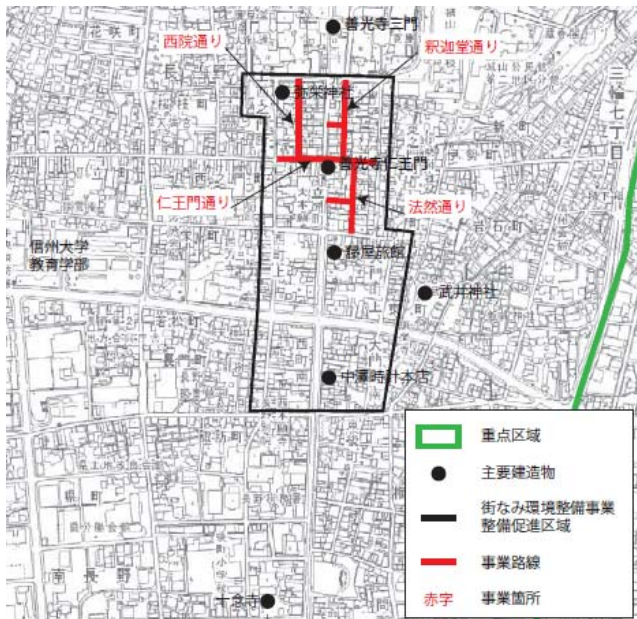
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

仁王門通りの状況

電線類地中化位置図

整備前



整備の様子



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 善光寺経蔵保存修理事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 重要文化財善光寺経蔵は、宝暦9年(1759)の建立以降、屋根葺替及び部分修理以外の全面的な保存修理を実施していないため、屋根の劣化とともに建物基部の基壇や石敷の変形と不陸等が顕著な状況となっている。
耐震性能並びに耐震上の課題を把握した上で、全面的な構造補強及び保存修理工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24・25年度は、耐震診断を実施して、建物の軸部及び基壇など構造体の破損状況調査、構造検討を進め、文化財建造物への影響を最小限とする構造補強方針を定めた。

| | |
|--|---|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 平成26年度からは、耐震診断成果に基づく構造補強及び屋根や部材等の保存修理工事の実施設計を行い、工事着手する予定。 |

状況を示す写真や資料等



正面全景(東面)



基壇の破損状況(西面)



建物内部状況(北西より)



小屋組の破損状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 中央通り歩行者優先道路化事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成22年度～平成25年度 ※計画変更有り／平成22年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼で屋台巡行のメイン通りとなる中央通り(善光寺表参道)について、屋台巡行における景観の質を向上させるとともに、通常時においても、周辺の歴史的建造物と一体となった沿道空間を確保するため、善光寺の参道の雰囲気と合わせた石畳舗装を行い、さらに歩道の拡幅を行うことで道路空間の魅力向上と機能充実を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

セントラルスクエア北から大門までのL=380mについて石畳舗装工を実施、うちL=130m(平成24年度繰越分)が完了。北野文芸座北から大門交差点までのL=250mは平成25年度工事契約及び着手、平成26年12月完了予定。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

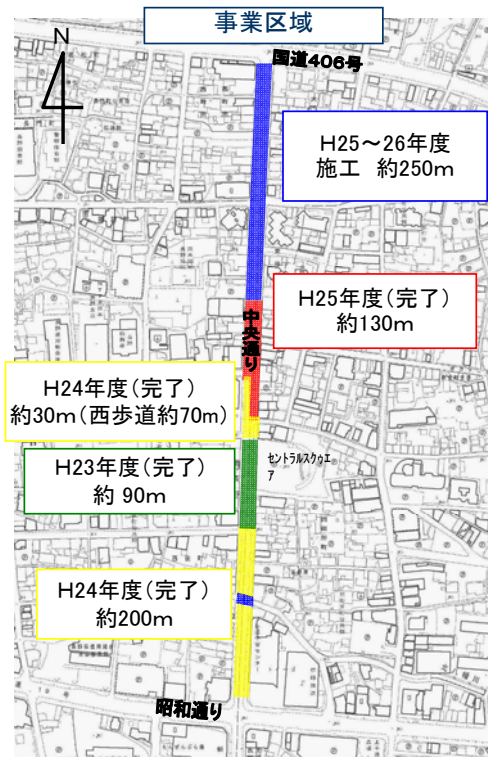
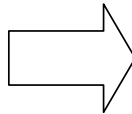
事業期間を1年延長し、25年度繰越分及び一部未整備箇所を施工する。また大門交差点までの間で、ベンチ、植栽等を整備し、交差点のスクランブル化に合わせた道路施設の移設も併せて実施する。

状況を示す写真や資料等

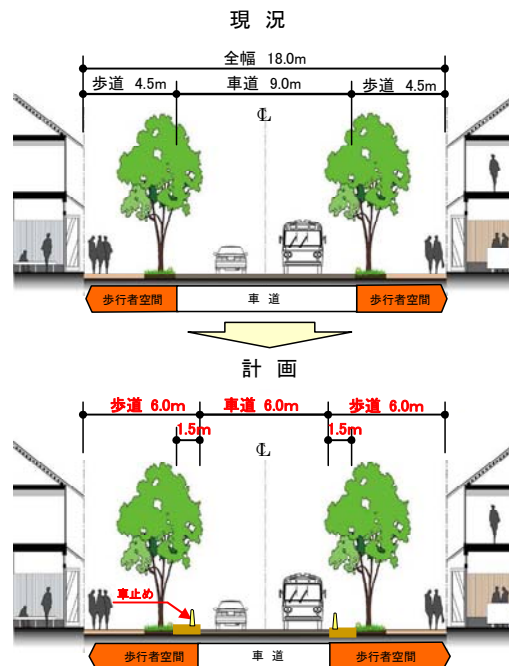
施工前



施工後



標準横断面図



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 戸隠古道現状調査事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 善光寺と戸隠を結ぶ信仰の道である戸隠古道について、その歴史や文化の普及・啓発を図り、より歩きやすい道として整備するため、戸隠古道の現況調査を行う。調査結果を踏まえて、部分的な歩道整備や歩行者案内板等の設置を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

H25年度は、戸隠観光協会の協力により、戸隠古道のうち一の鳥居から奥社までの主要部分の現状調査を実施。これにより回遊性向上における課題が明確となった。

| | |
|--|--|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 管理者不明の破損した案内板が多く存在し、これらの修理又は撤去が困難な状況。このため、環境省、長野県及び戸隠観光協会等と連携し、案内板管理者の調査を行う。 |

状況を示す写真や資料等

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| まちづくり協議会活動助成事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地域の歴史や文化を活かした良好なまちなみ形成を行うために組織された協議会に対して、活動助成を行う。
 団体名：戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会に対し活動費の助成を実施。これにより、勉強会や先進地視察等の協議会活動が活発に行われ、当該地区住民における良好な街なみ形成に関する理解が深まった。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



まちづくり勉強会(5/27)



先進地視察(6/10下郷町大内宿)



先進地視察(6/11南会津町前沢集落)



茅葺用の茅刈り体験(11/5、11/6)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 戸隠地域建物修景助成事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成27年度 **※計画変更有り／平成29年度～平成34年度**

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 中社・宝光社地区における宿坊や民家の所有者が、歴史的建造物の特性を活かした街づくり協定を締結した上で建物修景等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。

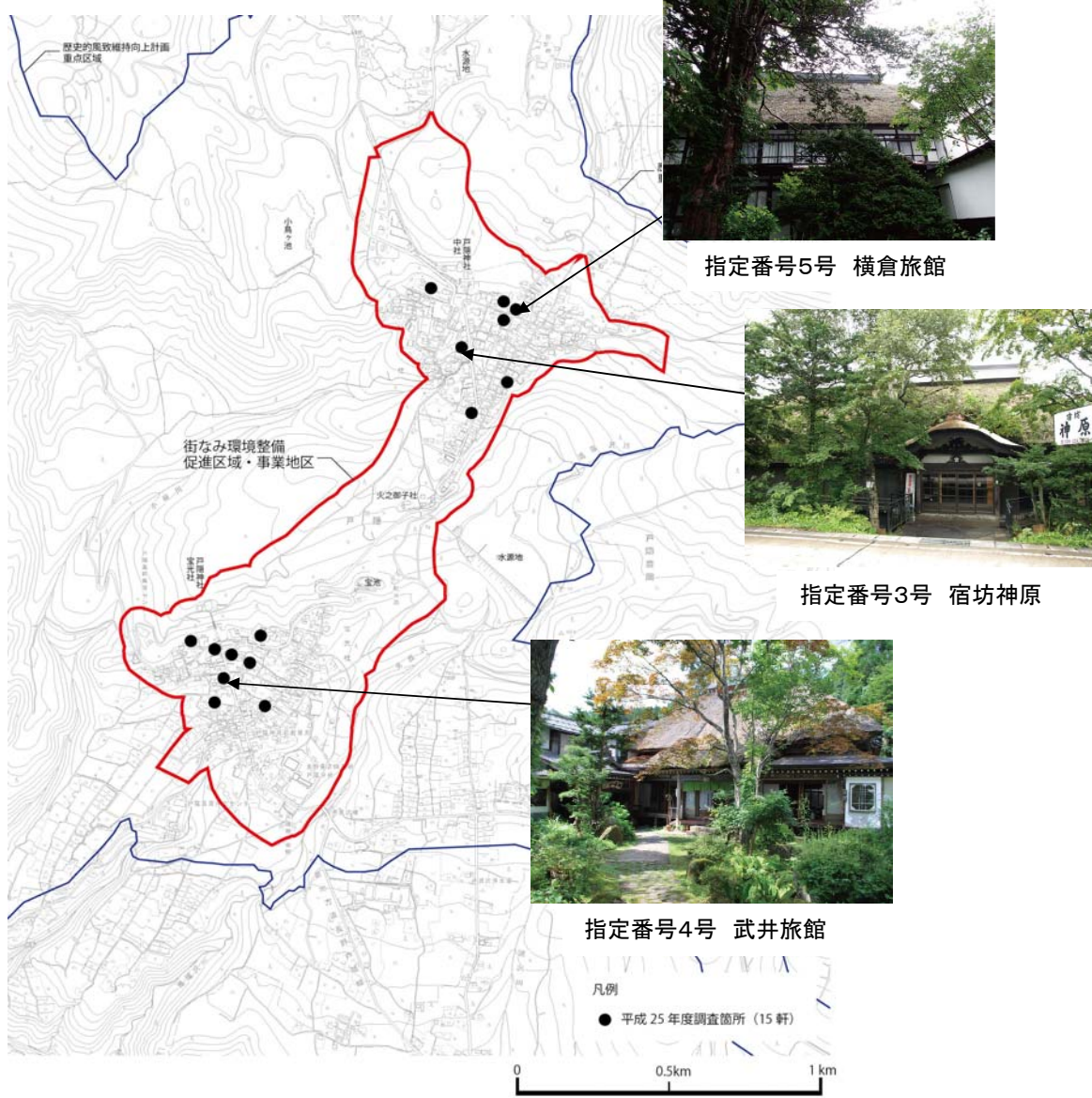
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、中社・宝光社地区の伝統的建造物のうち、15件の調査を行い(信州大学工学部建築学科に委託)、このうち茅葺屋根の破損のため早急に支援が必要な建造物3件を歴史的風致形成建造物に指定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 実施予定の中社・宝光社地区では伝統的建造物群保存地区(伝建地区)の指定を目指していることから、同事業の導入を見据え、街なみ環境整備事業との調整をしていく必要があるため、事業期間の変更・延長の必要が生じた。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成27年度 **※計画変更有り／平成30年度～平成34年度**

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

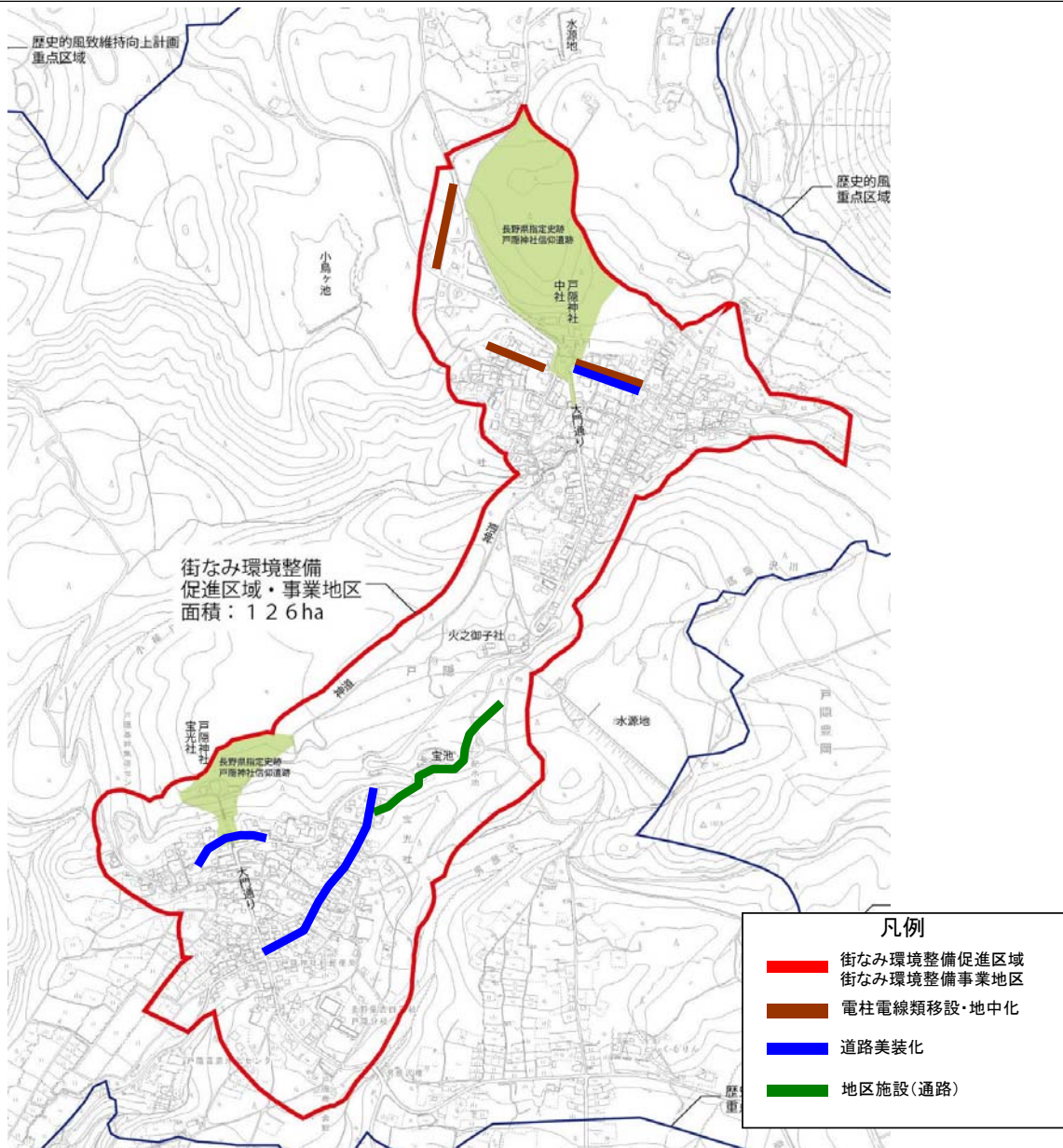
計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区門前の歴史的まちなみが広がる一部の路線について、道路美装化、電柱電線類移設、歩道整備等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

H25年度は、中社・宝光社門前にみられる歴史的風致の維持及び向上に寄与するための道路美装化、電柱電線類移設及び歩道整備の路線選定を実施。

| | |
|--|--|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 実施予定の中社・宝光社地区では伝統的建造物群保存地区(伝建地区)の指定を目指していることから、同事業の導入を見据え、街なみ環境整備事業との調整をしていく必要があるため、事業期間の変更・延長の必要が生じた。 |

状況を示す写真や資料等



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|---------------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成27年度 **※計画変更有り／平成26年度～平成30年度**

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定された宿坊極意(中社)と越志旅館(宝光社)について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

H25年度は、戸隠神社中社門前の宿坊極意及び戸隠神社宝光社門前の越志旅館の修理保存に向けて、景観審議会デザイン部会へ現状変更申請し許可を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 実施予定の中社・宝光社地区では伝統的建造物群保存地区(伝建地区)の指定を目指していることから、同事業の導入を見据え、街なみ環境整備事業との調整をしていく必要があるため、事業期間の変更・延長の必要が生じた。

状況を示す写真や資料等

越 志 旅 館



屋根
(木が生えてしまっている)



外壁(漆喰の破損)

宿 坊 極 意



屋根
(痛みが激しいためシートで保護)



屋根
(木が生えてしまっている)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 25年度 |
|-------------|--|---|------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 松代地域道路美装化事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成16年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧松代藩の城下町である松代の中心市街地は、松代城跡、新御殿跡、旧文武学校、旧樋口家住宅など、数多くの文化財が集積するとともに、善光寺御開帳における回向柱の奉納や天王祭における神輿巡行の舞台でもある。本事業では、城下町にふさわしい歴史的景観とするために、周辺の歴史的建造物に調和した歩車道の美装化を行う。

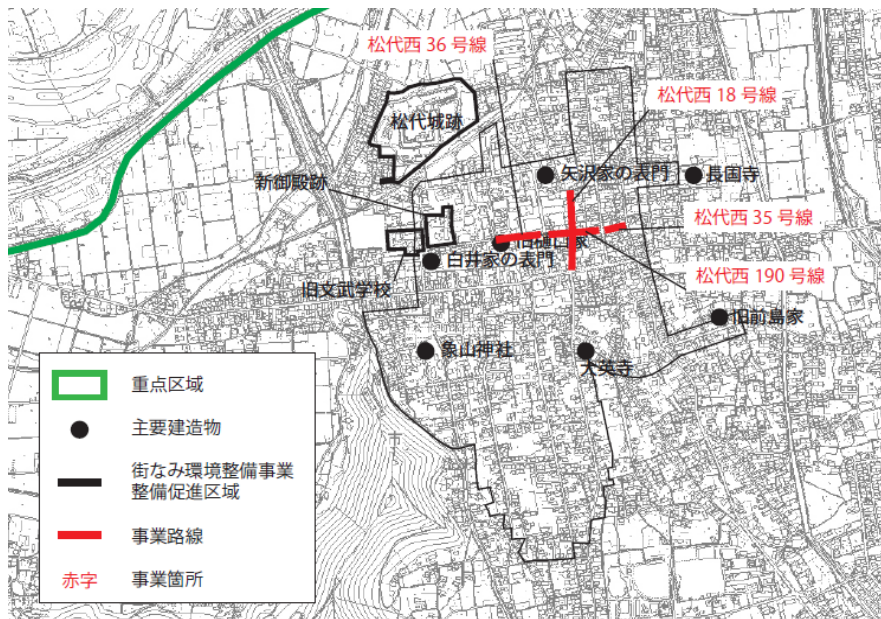
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代西36号線外1路線の歩道部及び車道部の一部において、道路美装化工事を実施し、良好な景観形成が図られた。
 ○道路美装化工事総延長(計画期間累計) 実施済み192m(歩道部137m、車道部55m)／計画延長722m(進捗率27%)

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

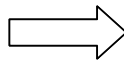
状況を示す写真や資料等

道路美装化位置図



松代西36号線の状況

整備前



整備の状況



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 旧松代藩鐘楼広場整備事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成23年度～平成25年度 **※今年度 事業完了**

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 周囲の歴史的まちなみよりもひととき高く聳え、松代城下町の象徴となっている旧松代藩鐘楼(享和元年(1801))について、鐘楼本体の保存修理工事が完了したため、引き続き鐘楼周囲の広場について整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代藩鐘楼広場(A=757㎡)について、敷地造成、板塀設置、植栽剪定、カラーアスファルト舗装、トイレ棟設置(A=6.75㎡)等の整備を実施した。

| | |
|--|---|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 平成26年度から当該広場が一般公開されることにより、観光客の増加が見込まれる。 |

状況を示す写真や資料等

旧松代藩鐘楼広場の状況

整備前



整備の様子



トイレ棟設置



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|---------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 小鮎川改修事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成22年度～平成26年度 **※計画変更有り／平成22年度～平成25年度 事業完了**

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 江戸時代後期には、城下を縦断する主要な河川の一つであった小鮎川は、以前、松代特有の水路である泉水路についても、ここから取水が行われており、今も往時の面影を残した川筋が松代の歴史的まちなみの中を流れている。旧松代藩鐘楼前の区間について、こうした小鮎川の歴史を後世に伝えるため、周囲の歴史的建造物に調和した水路として改修する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

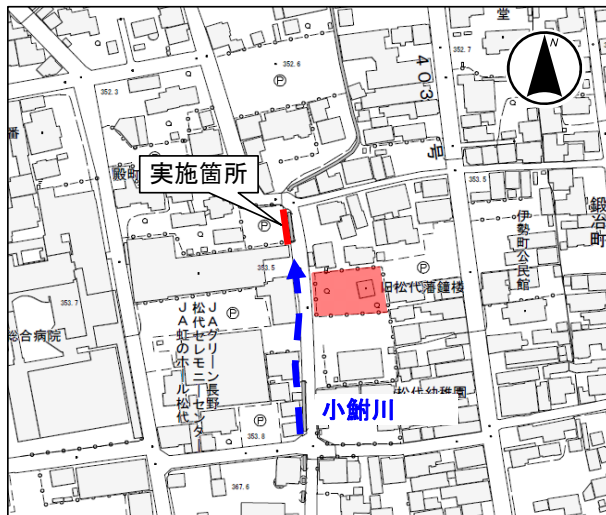
旧松代藩鐘楼広場そばの老朽化したコンクリート水路を伝統的な町並みにあった修景水路に改修した。(実施延長 L=17m)
観光客等に水辺の潤いを与える環境の保全や景観の形成が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

箇所図

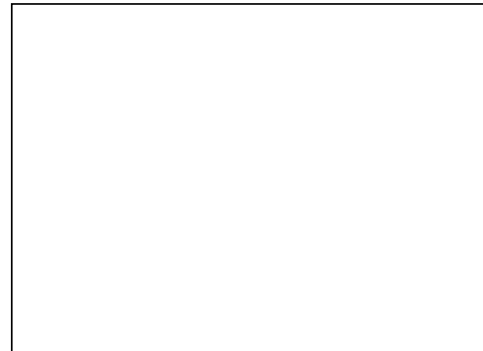


水路修景整備の状況

整備前



整備後



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 寺町商家(旧金箱家住宅)保存整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成23年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 以前空き家であった明治時代の商家である寺町商家について、歴史的建造物の保存整備を行ない、積極的な活用を促進することにより、城下町南東部の新たな地域交流の拠点を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第1期整備工事として主屋及び北之蔵の保存整備を実施、整備後の利活用を図るための設備(電気・機械等)整備も行った。

市民の関心を高めるため「工事見学会」を開催した。

整備後の利活用に関して地元団体等と意見交換を行った。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



寺町商家外観(西側道路から)



寺町商家主屋内部



寺町商家土蔵内部・工事見学会(11/23;参加者82名)

寺町商家配置図



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 伝統環境保存事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和59 年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

江戸時代の武家屋敷としての景観形成に寄与している個人宅の門の修理 1件に対して実施した。修理にあたっては長野市伝統環境保存審議会の助言・指導を受け、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

修理前



修理後



長野市伝統環境保存審議会(7/23)の審議と現地確認



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|-------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 旧文武学校保存整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成23年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

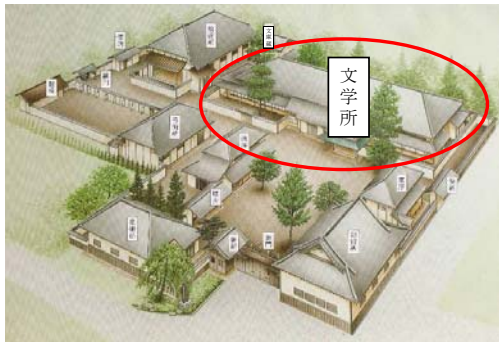
計画に記載している内容 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文学所の保存修理工事を実施中(平成26年度まで)。また、槍術所・弓術所・供待(ともまち)・番所の耐震診断を実施した。さらに、文武学校内の各建物の耐震診断や工事全体の見直しを進めるために、耐震補強計画作成委託業務を行なった。「史跡文武学校整備委員会」を開催し、整備調査状況、今後の整備方針等について審議した。(平成25年11月22日)市民の関心を高めるために「工事見学会」を開催した。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



文武学校 配置図



文学所 工事外観



文学所 解体状況



文学所 工事見学会 (11/23;参加者 94名)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 松代町文化財保存活用推進事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 長野市内の中で文化財施設が特に多く集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館が、近年、施設の老朽化に加え、展示施設の調湿機能の不備、収蔵庫不足等の諸問題が生じているため、真田宝物館の設置場所も含めた、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

真田宝物館及び関連施設のまちづくりにおける役割と今後の整備のあり方について検討するため、現状・課題の整理、事例調査・研究、ヒアリング調査・ワークショップ等の開催、設置場所を含む構想案の検討などを行なった。

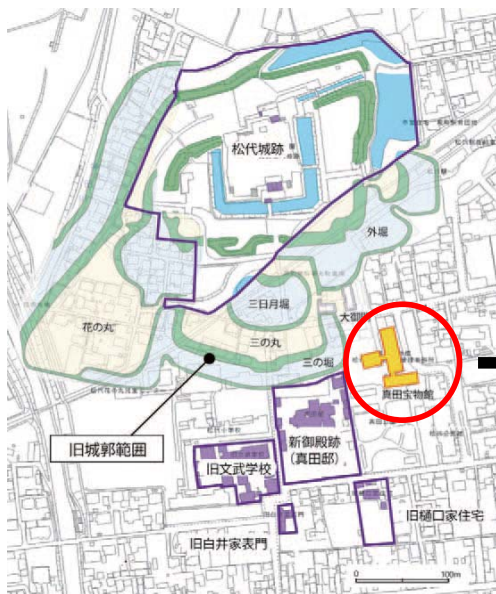
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

真田宝物館の整備は松代地区が作成している「松代地区振興計画」での位置づけや史跡松代城跡の復原整備事業とも深く関連するため、これらの事業との整合性を図りながら、方向性を検討していく。

状況を示す写真や資料等



真田宝物館と関連文化財の位置関係



現在の真田宝物館 (S36年建設)
 施設の老朽化、展示施設機能の不備、収蔵庫不足等の課題を抱えている。

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|------------------|----------------------|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 史跡松代城跡保存整備調査研究事業 | ■実施済 □実施中 □未着手 | |

事業期間 平成25年度

支援事業名 市単独事業

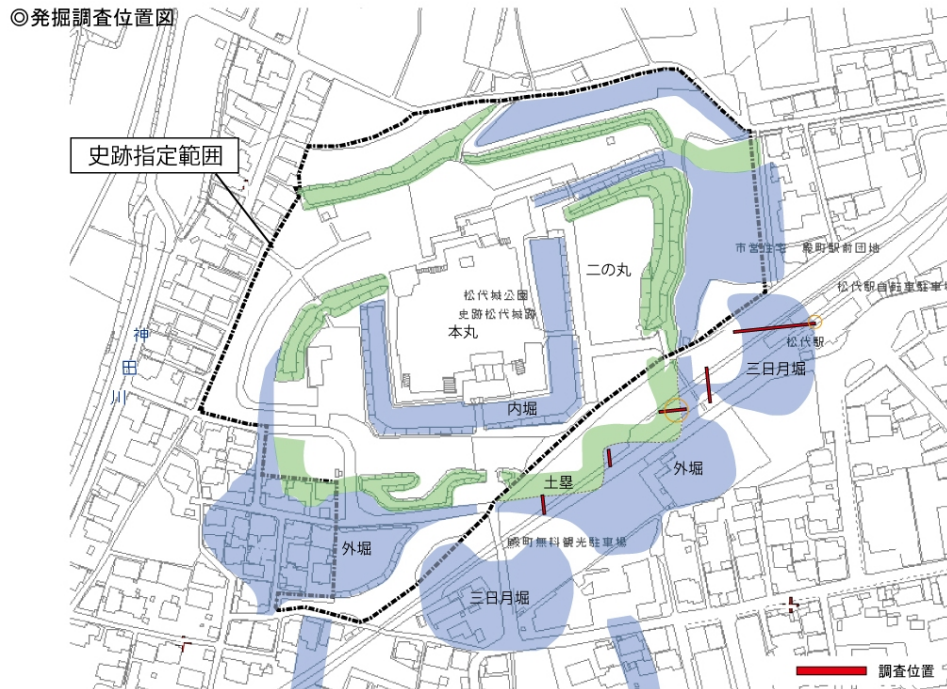
計画に記載している内容 史跡松代城跡について、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、旧城郭域の公有地化・復原整備を進めるための調査研究を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡に隣接する長野電鉄屋代線跡地について、長野市への用地移譲に伴い、遺構確認調査を実施し、外堀や三日月堀などの城郭遺構を確認した。

| | |
|-------------------------------|---|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| ■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない | 史跡の追加指定・整備には、既存市道の付替えを要するため、庁内関係各課及び地元住民との協議を進める。 |

状況を示す写真や資料等



三日月堀東岸石積検出状況



外堀堆積土層確認状況

| | | | |
|------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 耐震性貯水槽整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度 **※計画変更有り／平成28年度～平成34年度**

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) **※計画変更有り／市単独事業**

計画に記載している内容 松代駅周辺の防災対策として、耐震性貯水槽(防火水槽)を設置する。

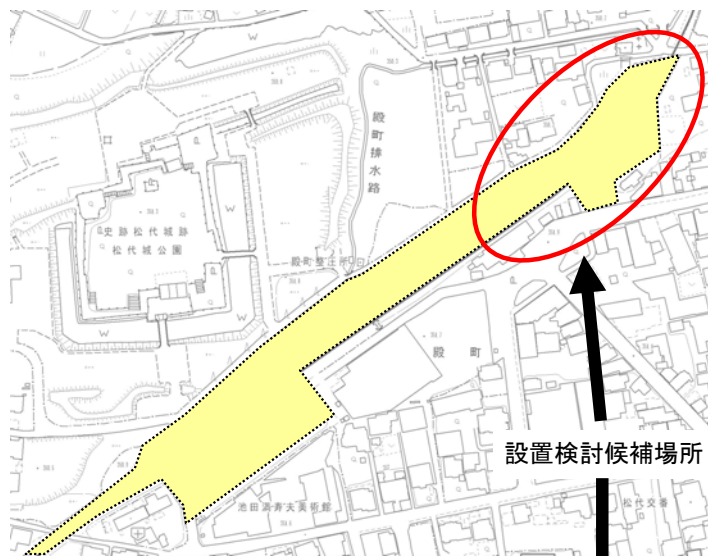
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

貯水槽設置の必要性はあるが、現時点では適当な設置場所の確保が難しく、当初予定していた事業期間での実施が見込めなくなったことから、事業実施を見送りとした。

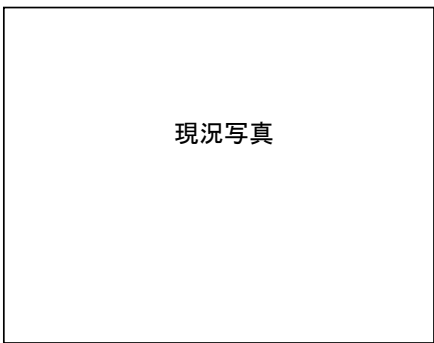
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 設置場所の確保が課題であったが、旧長野電鉄屋代線跡地が譲渡されて市有地となったため、今後の跡地利用と整備を検討していく中で耐震性貯水槽の設置場所が確保できるようであれば、改めて検討したい。

状況を示す写真や資料等



設置予定の耐震性貯水槽



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|-------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 旧松代駅舎保存活用事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度 **※計画変更有り／平成25年度～平成28年度**

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代駅舎の利活用については、現在、松代地区が作成している「松代地区振興計画」との関わりが大きいいため、旧駅舎の具体的な活用の在り方について、同地区と協議を始めた。今年度、旧駅舎の耐震診断を実施する予定であったが、活用方法によっては間取りの変更等が必要となり、補強箇所が変更になることから、実施を見送った。

進捗状況 ※計画年次との対応

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 地元地区と協働して、具体的な旧松代駅舎の保存活用方針を決める必要がある。そのための検討、協議を地元と進めていく。 |
|--|--|

状況を示す写真や資料等

現在の旧松代駅舎



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|---------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 松代城跡東側駐車場整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度 **※計画変更有り／平成25年度～平成28年度**

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光用駐車場として旧長野電鉄屋代線松代駅北側部分を砕石舗装で暫定的に整備した。

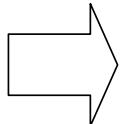
| | |
|--|---|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 将来的な整備については、史跡松代城跡に隣接しているため、今後の松代城跡の復元整備計画との整合を図りながら、アクセス駐車場の整備範囲、整備時期について検討を行う必要がある。 |

状況を示す写真や資料等

整備前



整備後



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|-----------------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成28年度 **※計画変更有り／平成25年度～平成29年度**

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧長野電鉄屋代線の線路敷について、レールや鉄塔等の不必要な鉄道施設の撤去後、長野電鉄㈱から譲渡を受けた。自動車道・遊歩道の全予定区間について概略設計を実施した。また、区間内の橋梁及び隧道について点検・調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 地元からの要望事項について、協議・検討を行い、事業を進めていく必要がある。事業規模が大きく、事業費の財政計画との調整の結果、事業期間を延長する必要がある。

旧長野電鉄屋代線跡地

<レール等の撤去前>



<レール等の撤去後>



| | | |
|---------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 史跡大室古墳群保存整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

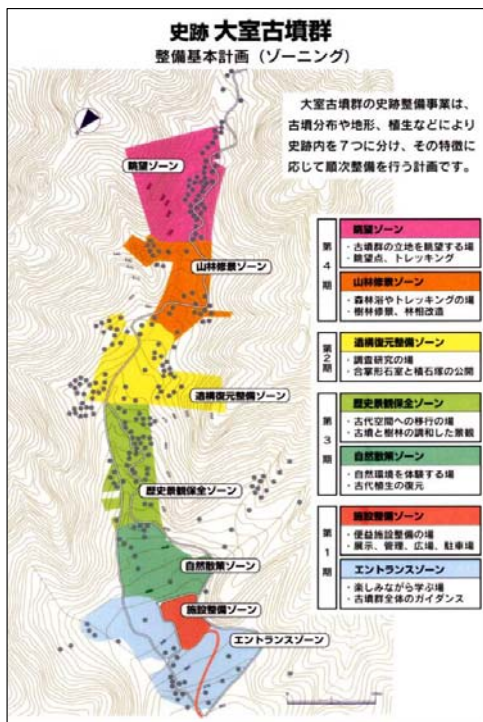
計画に記載している内容 平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として利活用できるよう整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度より史跡大室古墳群遺構復元整備ゾーンの整備事業に着手するために、本年度は遺構復元整備ゾーン基本設計の策定を行なった。

| | |
|--|---------------------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 策定中の基本設計に基づき、具体的な年次計画を検討することが次の課題となる。 |

状況を示す写真や資料等



史跡大室古墳群 整備ゾーニング図



遺構復元整備ゾーン 168号墳(積石塚)



遺構復元整備ゾーン 186号墳(横穴式石室)

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|-----------------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 史跡大室古墳群アクセス道路整備調査検討事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 市単独事業

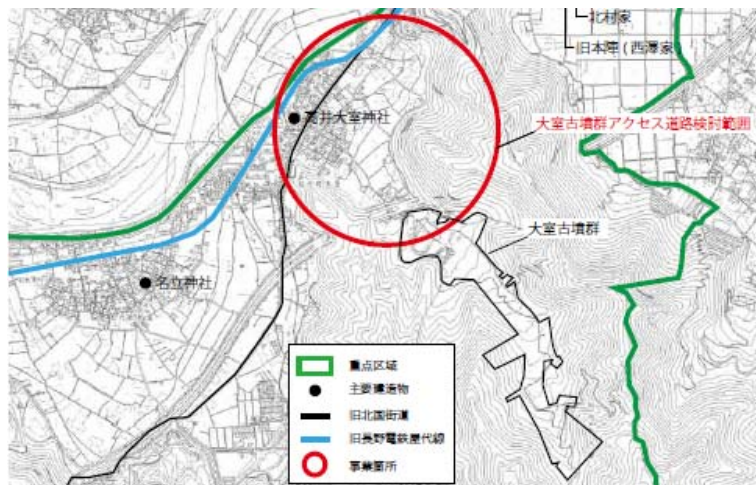
計画に記載している内容
 大室古墳群の保存活動は、史跡指定及び史跡整備事業の着手により、整備されたエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、多くの市民に古墳群を周知し、史跡の利活用を通じて古墳群全体の保存を図っていくという新たな局面を迎えている。
 こうした新たな保存活動を展開していくためには、細く不案内で、落石等の危険のある現在の道路を誰もが通行しやすく、迷うことなく史跡へ行き着くことができる経路に整備していく必要があり、このための現況調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

アクセス道路整備に関わるこれまでの検討経過をまとめ、平成25年7月25日に関係課長会議を開催。特に、継続協議されていたルート案について再検討し、方向性を確認した。
 事業化に向け、社会資本整備総合交付金などの支援事業について関係課と協議検討を始めた。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 地元協議を実施するためにも概略設計の実施が課題。 |

状況を示す写真や資料等



大室古墳群アクセス道路検討範囲 位置図



大室古墳群アクセス道路 現況

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 旧信濃川田駅保存活用事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線信濃川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧信濃川田駅舎の耐震診断を実施した。
敷地内にトイレ(身体障害者用を含む)を整備し、利用者・来訪者の利便性向上を図ることができた。
駅舎の具体的な活用について、地元若穂地区と協議を行った。

| | |
|--|--------------------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 地元地区との協議を重ね、駅舎の具体的な活用方法について決める必要がある。 |

状況を示す写真や資料等

現在の旧信濃川田駅舎



整備されたトイレ



評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--------------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成22年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 松代地区の歴史的建造物や庭園・泉水路等を活用し、地域固有のまちなみ形成とまちづくりを行うため、松代地区に残る歴史的建造物や庭園・泉水路の現況について詳細調査を実施し、価値の高い建造物等について文化財の登録制度を積極的に活用した保全及び活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区に残る伝統的建造物や庭園等の悉皆(しっかい)調査により、伝統的環境の分布状況が把握された。特に重要な物件については、所有者の同意のもと、国登録文化財候補物件としての詳細調査を実施した。
 ・国登録文化財候補物件の詳細調査実施。調査報告会の開催。
 ・新たな国登録有形文化財(建造物) 4箇所10件(H25.11.15答申)

進捗状況 ※計画年次との対応

| | |
|-------------------------------|---|
| ■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 個別物件の調査が進む一方、町全体での保全対策が遅れている。特に庭園の保全には安定した水量確保と維持管理が必要であり、地元住民と共に対策を講じる必要がある。 |
|-------------------------------|---|

状況を示す写真や資料等



歴史的建造物調査状況



庭園調査状況



新規登録有形文化財(長明寺三門)



庭園調査報告会

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 25年度 |
|----------------|--------|--|
| 松代歴史文化の発信・誘客事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成22年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 松代の歴史文化を発信し誘客に繋げようとして「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行った。
散策ツアーの製作、まち歩きガイドの養成、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムの開催等のまち歩き観光の推進とPRに寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

まち歩きセンター外観



まち歩きガイドブック作成



散策会の開催

城下町松代武家屋敷 秋のお庭拝見

— 江戸時代から受け継がれた武家屋敷の庭園 —
松代の武家屋敷は、周辺の山並みを取り込んだ借景、池から池へ流れる泉水路などの特徴を持ち、江戸時代から現在へとそこに住む人々によって守り、受け継がれてきました。
お庭拝見は、個人の邸宅をご厚意で開放していただいている見学です。お庭の紅葉とともに周囲の山々の色づきに秋を感じながら歩いてみませんか！

平成25年11月9日(土) 午前9:30～12:00
受付 午前9時～午前9時30分 松代城入口
参加費 1,000円(資料(木)代・保険料)
持ち物 帽子、履きなれた靴、飲み物、(雨具)

◆3キロコース
◆5キロコースから
お選びください。

主催 NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会
長野市松代町松代7丁目(伊勢町)577
TEL 026-278-1277
共催 信州松代お庭を愛する会
松代観光推進機構

城下町松代の文化財の建物をめぐる

江戸、明治、大正、昭和にかけての歴史的建造物が豊富に残る町、松代。
1級建築士の長尾晃氏に説明してもらいながら、国の登録有形文化財を中心に松代の町並みを見て学びます。
松代の魅力を再発見してみませんか？

日時 11月16日(土)
午前9時半～12時
集合 松代城入り口
講師 長尾 晃氏(1級建築士)
参加費 500円(資料、保険料)
申し込み 不要(直接お越しください)
持ち物 飲み物 帽子 履きなれた靴(雨具)

★散策コース
小山田家→矢沢家の門→藤橋→松家等(外から)→西念寺(境内のみ)→梅輪院→長国寺→松下家→元神社→赤澤家の門→旧樋口邸→田真田邸(外から)→松代城

主催 NPO法人 夢空間 松代のまちと心を育てる会
長野市松代町松代(伊勢町)577
TEL 026-278-1277
共催 松代観光推進機構

視察研修の受入



評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--------------------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年5月の鬼無里神社祭礼においても屋台巡行が行われた。
 鬼無里地区歴史的風致維持向上協議会と鬼無里ふるさと資料館の屋台見学、意見交換を実施(10/9)、また、屋台の状態を確認するため、専門業者による現状診断を(11/30)に実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

次回5月の屋台巡行時の状況を直接専門業者に確認してもらい、修理方針等を検討していく。

状況を示す写真や資料等

鬼無里神社祭礼における屋台巡行の様子(5/3)



屋台の現状診断の様子(11/30)



評価軸③-30
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 鬼無里地域の伝統的祭礼等PR 事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白髯神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鬼無里地区主導で地域の伝統的祭礼や文化財を活用した体験参加型ツアーを企画、実施された。
 5月3日・・・鬼無里神社(乾燥野菜作り体験と鬼無里神社春祭りを学ぶ)
 6月22日・・・鬼無里ふるさと資料館(北村喜代松制作屋台)・白髯神社(住民発信! 鬼無里めぐり2013春)
 7月1～10日・・・白髯神社(白髯神社本殿特別拝観と花しょうぶ・ホテル・古民家をめぐる旅)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 松巖寺観音堂保存修理事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 寛永2年(1625)または寛永3年(1626)の建立とされる松巖寺観音堂(市指定有形文化財)は、建築後400年を経過しており、建築物の主要構造部である基礎や屋根が、老朽化によって損傷が著しい。また、現在の外観は、後世の改修や補強(筋交い)によって、創建当初とは異なった姿をなしている。本修理事業では、市指定有形文化財である観音堂を後世へ保存、継承していくため、損傷した部材の交換等を行うとともに、創建当初の姿への復原を視野に入れた保存修理工事を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物基礎工事(礎石据え直し等)、木工事(柱の根継ぎ等)、居直し(傾斜、沈下している柱を垂直、水平に直す等)、外溝工事を実施した。平成26年度は、屋根工事(銅板葺き)、左官工事(外壁:壁板取り替え、内壁:土を補い漆喰塗装)、建具工事、彫刻補修を予定。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



工事状況写真(平成25年11月状況)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | | |
|------------------------------------|--|---|------|
| | | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化財の保存活用(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容
 文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区の歴史的建造物について調査を行い、4箇所10件の建造物が登録有形文化財に登録された。松代地区の庭園群は、登録記念物(名勝地)候補物件として詳細調査実施、及び庭園所有者との意見交換会を行っている。戸隠地区の宿坊については、未指定の建物・庭園等の調査を進めている。

| | |
|--|--|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 市内に数多く残る歴史的価値を有する建造物等の文化財について、適切な保全を推進するため、今後も新規の指定・登録等を積極的に進める。 |

状況を示す写真や資料等



松代の4カ所10件 国の登録文化財へ

文化審議会が答申

旧山寺常山家住宅など

松代町の旧山寺常山家住宅は、明治初期の藩士宅で、その文様や、かまど、障子の文様など、歴史的価値が高く、国の登録有形文化財に指定された。また、松代町の旧山寺常山家住宅は、明治初期の藩士宅で、その文様や、かまど、障子の文様など、歴史的価値が高く、国の登録有形文化財に指定された。



庭園所有者との意見交換会(5/31)



庭園調査状況

長野市民新聞
25.11.16 記事

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|-------------------------|---|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容
 国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財の建造物・記念物等について計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図ることができた。

- 指定文化財の保存修理事業 4件
 (国指定:旧文武学校保存整備、大室古墳群保存整備)
 (市指定:寺町商家保存整備、松巖寺観音堂保存修理)
- 指定文化財の耐震診断事業 1件
 (国指定:善光寺経蔵耐震診断)

歴史的風致の形成に寄与する建造物5件を「歴史的風致形成建造物」に指定した。

- 「大英寺本堂」……松代地区、「松巖寺観音堂」……鬼無里地区
- 「宿坊神原」「武井旅館」「横倉旅館」……戸隠地区

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

旧文武学校保存整備委員会での審議(11/22)



史跡大室古墳群保存整備委員会での審議(6/26)



長野市歴史的風致維持向上協議会による「風致形成建造物指定候補」の現地視察(2/18)



大英寺本堂(松代)



松巖寺観音堂(鬼無里)



横倉旅館・門(戸隠)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | 評価対象年度 | 25年度 |
|--------------------|--|---|------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化財の防災に関する取り組みについて | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

定期的に文化財防火パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財パトロールの実施
 ・国・県指定文化財：年2回(パトロール員3名)
 ・市指定文化財：年1回(パトロール員32名)
 善光寺(1月26日)・松代城跡(1月24日)などの文化財施設において「文化財防火デー」を中心とした防火放水、避難訓練が実施された。併せて文化財愛護に関する普及啓発も実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

文化財パトロールの様子



(県宝大英寺本堂)



(市指定天然記念物深谷沢の蜂の巣状風化岩)

文化財防火デー 訓練の様子



1/24 松代城跡

「善光寺・宿坊からの避難誘導訓練」
 (平成26年1月27日 信濃毎日新聞記事)

1/26 善光寺、宿坊

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|--|--------|------|
| | 評価対象年度 | 25年度 |
|--|--------|------|

| 項目 | 現在の状況 |
|-----------------|---|
| 文化財の周辺環境の整備について | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美装化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。

〈善光寺戸隠地区〉
 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美装化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。

〈松代・若穂川田地区〉
 ・電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。

〈鬼無里地区〉
 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線類地中化に向けて、長野北576号線の電線共同溝整備工事を実施した。(L=105m)
 良好な景観形成に向けて、松代西36号線の道路美装化(歩道部分)を実施した。(L=137m)
 地区内の文化財や古民家等を巡るツアーを開催し、景観に関する住民意識の向上が図られた。

| | |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



長野市民新聞
25.6.25記事

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 25年度 |
|----------------------|--|---|------|
| 文化財の保存及び活用の普及、啓発について | | 現在の状況 | |
| | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容
 文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区では、城下町に残る庭園調査報告会や指定文化財の保存修理工事見学会を開催し、地域に残る歴史的財産の魅力や継承の意義を伝えた。(5/18調査報告会、11/9大室見学会、11/23寺町商家・旧文武学校工事見学会)
 また、NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会などの各種団体主催によるまち歩き・見学会、勉強会などが開催された。(30ページ参照)
 鬼無里地区では、鬼無里神社祭礼時に屋台巡行が行われ、それに合わせて屋台曳き手と郷土料理を体験するツアーや国重文の白髭神社本殿特別拝観などのイベントが行われた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



5/18・松代庭園調査報告会



11/23・寺町商家・旧文武学校工事見学会



5/3・鬼無里神社祭礼屋台巡行・郷土料理体験ツアー



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

| | | 評価対象年度 | 25年度 |
|---|-------------|--------------------------|------|
| 報道等タイトル | 年月日 | 掲載紙等 | |
| 歴史的まちづくり 長野市の計画認定 国交省など県内4件目 | 平成25年4月12日 | 信濃毎日新聞 | |
| 長野市の景観づくり・長野市歴史的風致維持向上計画を策定 | 平成25年5月1日 | 広報ながの5月号 特集掲載 | |
| 旧川田宿ガイド養成へ | 平成25年4月6日 | 長野市民新聞 | |
| にぎやか春祭り 屋台引き練り歩く・鬼無里神社 体験講座も参加 | 平成25年5月8日 | 長野市民新聞 | |
| 「松代 庭園軸に街づくりを」 武家屋敷などの調査報告会 | 平成25年5月19日 | 信濃毎日新聞 | |
| 国の有識者会議委員ら 松代で町づくり視察 | 平成25年6月22日 | 長野市民新聞 | |
| 鬼無里めぐり盛況 | 平成25年6月25日 | 長野市民新聞 | |
| ふれ愛ながの 松代 ～歴史文化とまちづくり～ | 平成25年6月29日 | 長野放送(TV) | |
| 鬼無里松巖寺 観音堂の修復本格化 | 平成25年7月6日 | 長野市民新聞 | |
| 華やか屋台巡行 ながの祇園祭 | 平成25年7月15日 | 長野市民新聞 | |
| 松代城の三日月堀確認 | 平成25年7月19日 | 信濃毎日新聞 | |
| 門の修繕箇所を視察 市伝統環境保存審 条例に基づき助言 | 平成25年8月1日 | 長野市民新聞 | |
| 善光寺・大本願の新指定国重文 阿弥陀来迎図を公開 | 平成25年8月3日 | 長野市民新聞 | |
| 松代藩「時の鐘」復活 改修終え7年ぶりに | 平成25年10月5日 | 長野市民新聞 | |
| 鬼無里の歴史的な文化遺産 市へ課題や要望提出 | 平成25年11月7日 | 長野市民新聞 | |
| 旧武家屋敷庭園 徒歩で巡り見学 | 平成25年11月9日 | 長野市民新聞 | |
| 戸隠古道 花探し歩く 飯綱高原で催し | 平成25年11月9日 | 長野市民新聞 | |
| オオガヤ刈り取り 戸隠スキー場で | 平成25年11月9日 | 長野市民新聞 | |
| 松代の4カ所10件 国の登録文化財へ 文化審議会が答申 | 平成25年11月16日 | 長野市民新聞 | |
| 大室古墳群で見学会 整備した円墳など解説 | 平成25年11月16日 | 長野市民新聞 | |
| 和くぎに驚き 補修の現場 松代・文武学校で見学会 | 平成25年11月26日 | 信濃毎日新聞 | |
| 善光寺周辺の逸話や名所を紹介(善光寺参り絵解図制作プロジェクト) | 平成25年11月28日 | 長野市民新聞 | |
| 15年御開帳 700万人目標に「善光寺御開帳奉賛会」スタート | 平成25年11月30日 | 信濃毎日新聞 | |
| 川田宿の史跡マップ 「ガイドの会」が近く刊行へ | 平成25年12月12日 | 長野市民新聞 | |
| NAGANO検定 研修会実施 | 平成25年12月26日 | 長野市民新聞 | |
| 市の「歴史的風致形成建造物」 戸隠など5件指定へ | 平成26年1月7日 | 長野市民新聞 | |
| 「NAGANO検定」659人挑戦 | 平成26年2月3日 | 信濃毎日新聞 | |
| 歴史的まちづくり 新事業案 長野市地方文化財保護審議会 | 平成26年2月5日 | 信濃毎日新聞 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| <p>計画認定を受け、新聞報道・市広報への掲載により市民への周知が図られ、地域の歴史や文化財に対する関心が高まった。</p> <p>重点区域で本計画の歴史的風致に関わるイベントや文化財の保存・活用について数多く取り上げられ、報道された。NAGANO検定の実施、戸隠の「茅場」整備、旧川田宿ガイド活動、鬼無里における文化財を活用した体験参加型ツアーの実施など地域主導の活動が見られた。</p> | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし | | | |

ながのの祇園祭 華やか屋台巡行

14日中央通りをはじめとした中心市街地で開催された「ながの祇園祭・御祭礼屋台巡行」。2年連続となつた今回も、権堂町・上千蔵町・西後町・新田町と、長沼地区の穂深・六地蔵町の屋台が参列し、見物客でぎわった。華やかな音ひなを繰り広げ、活気に満ちあふれた祭りの様子をスナップした。



権堂町の「勢(きおい)獅子」。暴れるような熱気あふれる舞を繰り広げた



北石堂町に展示された六地蔵町の屋台前では、長沼地区の太鼓グループが勇壮な演奏を披露

長野市の景観づくり

本市は、戸田や尾瀬周辺の豊かな自然が魅力であり、観光地化や移住などの歴史や文化が蓄積する都市も併せています。このような優れた景観資源を生かして、市景観で訪れる皆さんにも愛される都市を目指して、市では景観づくりに取り組んでいます。

景観的価値の風致

維持向上計画を策定
景観的価値の維持向上計画を策定し、景観的価値の維持向上を図ります。

景観的価値の風致
景観的価値の風致を維持し、景観的価値の向上を図ります。

景観的価値の風致
景観的価値の風致を維持し、景観的価値の向上を図ります。

ご応募ください

長野市景観賞

景観的価値の向上を図るための取り組みを表彰します。

景観的価値の向上を図るための取り組みを表彰します。

広報ながの5月号 記事

長野市民新聞 25.7.18 記事

鬼無里めぐり盛況

定員超の50人 歴史文化堪能

鬼無里めぐりの盛況を伝える記事。定員を超えた50人が参加し、歴史文化を堪能した。



長野市民新聞 25.6.25 記事

松代藩「時の鐘」復活

改修終え7年ぶりに 12、13日の1日2回鳴らす

松代藩「時の鐘」の改修が完了し、7年ぶりに12、13日の1日2回鳴らす。記事には鐘の歴史と改修の様子について詳しく記載されている。

長野市民新聞 25.10.1 記事

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 25年度

項目

「NAGANO検定」の実施

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

地域に対する関心や愛着を高め、平成27年春の新幹線延伸や善光寺ご開帳に向けた市民の「おもてなし」向上を目的に、長野市に関する自然や歴史、文化、地域の魅力など幅広い知識について問う「NAGANO検定」が実施された。検定のテキストでは、本計画の内容説明のほか、重点地域に関わる文化財や街なみ景観なども多く取り上げられ、関心を呼んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



来月2月のNAGANO検定
来月2日から受験募る

21日に発売したNAGANO検定の
テキストブック

「NAGANO検定」のテキストブックが21日に発売された。このテキストブックは、NAGANO検定の受験者向けに、長野市の自然や歴史、文化、地域の魅力など幅広い知識をまとめた。また、研究会も計画している。

長野市民新聞 25.11.23記事



物の長野検定に660人
魅力再発見し発信へ

2015年 新幹線 北陸へ

幅広い世代が受け「NAGANO検定」

「NAGANO検定」のテキストブックが21日に発売された。このテキストブックは、NAGANO検定の受験者向けに、長野市の自然や歴史、文化、地域の魅力など幅広い知識をまとめた。また、研究会も計画している。

長野市民新聞 26.2.4記事

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

| | |
|--|------|
| 評価対象年度 | 25年度 |
| 法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称:長野市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会) | |
| 会議等の開催日時:平成26年2月25日 14:00～ | |
| (コメントの概要) | |
| (今後の対応方針) | |